

# バードウォッチング

## 《<sup>みずうみ</sup>湖の<sup>とり</sup>鳥<sup>へん</sup>編》



ながさきしかがくかん  
長崎市科学館

2024.2.25(日)

かわはらおいけ  
川原大池

# か アオサギ(サギ科)



Copy Right 大坪 潔(長崎市科学館)

たんすい かぎ うみべ す  
淡水に限らず、海辺にも棲みます。

せ たか おおがた とり あたま  
背が高く大型の鳥です。オスは頭の  
うし かぎ なが とくちょう  
後ろの飾りが長いのが特徴です。

なが みずべ た こ  
長いあしをいかして水辺に立ち、小  
ぎかな など い もの つか  
魚やエビ、カエル等の生き物を捕ま  
えて食べますが、からだぬ  
きら  
嫌いなようです。

みずべ とり き うえ す つく  
水辺の鳥ですが、木の上に巣を作  
ります。昔の日本画には、まつ づる  
がとまっている様子を描いた絵があり  
ますが、どうやらアオサギ等<sup>など</sup>のサギの  
なかま かんちが えが  
仲間と勘違いして描いたようです。

# オオバン(クイナ科)<sup>か</sup>



モノトーン・コーデのおしゃれな<sup>すがた</sup>姿をしていて、「キューイー」「キュルキュル」と<sup>な</sup>鳴きます。

あしには水掻きが<sup>みずか</sup>無く、代わりに<sup>な</sup>葉の様な<sup>か</sup>形<sup>は</sup>をして<sup>よう</sup>います。

<sup>かんさつ</sup>観察をしていると、<sup>じょうず</sup>上手に<sup>みず</sup>水に<sup>もぐ</sup>潜って<sup>みずくさ</sup>水草をくわえて<sup>あ</sup>上がります。

<sup>さいきん</sup>最近、<sup>にほんじゅう</sup>日本中で<sup>かず</sup>数が増えており、<sup>かわはら</sup>川原大池でも、<sup>よ</sup>良<sup>み</sup>く見られます。<sup>わり</sup>割と<sup>ちか</sup>近くを<sup>およ</sup>泳いでいる<sup>こと</sup>事が<sup>おほ</sup>多く、<sup>かんたん</sup>簡単<sup>み</sup>に見つけられます。<sup>ひと</sup>人が<sup>ちか</sup>近づくと、<sup>み</sup>こちらをチラチラ見ながら<sup>に</sup>スイスイ<sup>ようす</sup>逃げる様子は、ユーモラスです。

# か カイツブリ(カイツブリ科)



カモに似ていますが、カモなかまの仲間ではありません。

他のカモ類たいと比べると、体からだの大きさは半分位はんぶんくらいです。

あしが尾おの近くちかに付ついているので、歩あるくのは苦手にがてです

が、潜もぐるのはとても上手じょうずで、魚さかなやエビ、カニ、水生昆すいせいこん

虫等ちゅうなどを捕つかまえて食たべます。

1回かいに15秒びょうくらい位潜すこっては、少し離はなれた場所ばしょに浮うかび

ああがって来くるので、双眼鏡そうがんきょうで捉とらえ難にくい鳥とりです。

「キュルルルル・・・」とさえずこえる声きが聞きこえてきます。

# か カムリカイツブリ (カイツブリ科)



カイツブリの仲間では、日本最大です。

冬は首回りが白くすっきりしていますが、夏は茶色のマフラーをしている様に見えます。

オスもメスも同じ色なので、見た目では区別が付きません。

青森県の下北半島や滋賀県の琵琶湖等では子育てをする事があり、親鳥の背中に縞模様の可愛い雛を乗せて運んでいる姿が見られる事があるそうです。

水に潜るのが得意で、魚やエビ・カニ等を上手に捕まえて食べます。

# か キンクロハジロ (カモ科)



Copy Right 大坪 潔 (長崎市科学館)

パンダの様な白黒ボディーは、オスの特徴です。また、頭の後ろ  
にポニーテールの様な飾り羽(冠羽)が付いているのも特徴です。

この特徴を基に、金色の目で黒い体でつばさの先が白いカモと  
いう意味の名前が付けられました。とは言え、オスのエクリップスや幼  
鳥はメスと同じ様な色をしています。長崎では冬鳥です。

10 m 以上も水に潜って水草や貝、エビ等を食べる雑食のカ  
モです。夜になると、活発に動いて餌を探します。

※エクリップスとは・・・繁殖期ではない時期のオスの羽の状態のこと

この時期はメスに選ばれる必要がないため地味な色になる

# か カルガモ (カモ科)



まちなか みずべ よ み か  
街中の水辺でも、良く見掛けます。

オスとメスは良く似ています。くちばしの先の黄色い部分  
かたち せなか うもう しろ ふちど など わず ちが み  
の形や、背中の羽毛の白い縁取り等、僅かな違いでしか見  
わ どり  
分けられない鳥です。

みずべ くさむら なか たまご う ちか いけ かわなど えさ と  
水辺の叢の中に卵を産み、近くの池や川等で餌を捕る  
ため ぼし ひっこ すがた し  
為に、母子で引越しをする姿がよく知られています。

えさ みずくさ かい など ほか りくじょう しょくぶつなど た  
餌は、水草や貝、エビ等の他、陸上の植物等も食べます。

# か オシドリ(カモ科)



ながさきけん とり  
長崎県の鳥になっていて、ガンバくん・ランバちゃんのモデルです。

いま じき しゃれ かっこう  
今の時期、オスはお洒落な格好をしています。

あつとうてき かず すく ひっし  
メスはオスよりも圧倒的に数が少ないので、オスは必死に  
まも すがた み ふうふ  
パートナーを守ろうとします。その姿を見て、『おしどり夫婦』  
ことば う  
という言葉が生まれたそうです。

たいぼく みき たか ばしょ あな す つく と  
大木の幹の高い場所の穴に、巣を作ります。そこから飛び  
お ひな さいしょ しれん  
降りるのが、雛の最初の試練です。

くさ たね こんちゅう ほか あき た  
草の種や昆虫の他、秋にはドングリも食べます。



# その他の鳥達

～見る事が出来るかも?!～

## ヒドリガモ(カモ科)



## ホシハジロ(カモ科)



## マガモ (カモ科)



## ハシビロガモ (カモ科)



## オナガガモ (カモ科)

